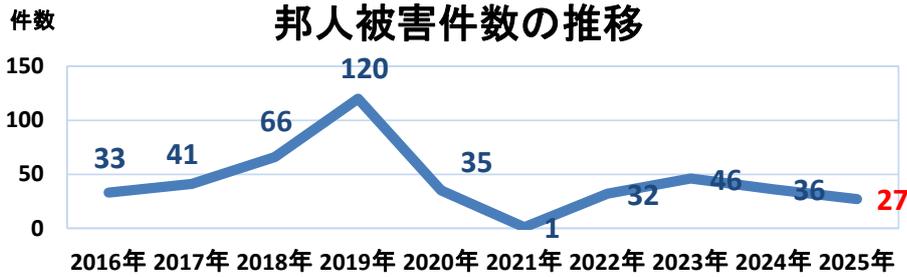


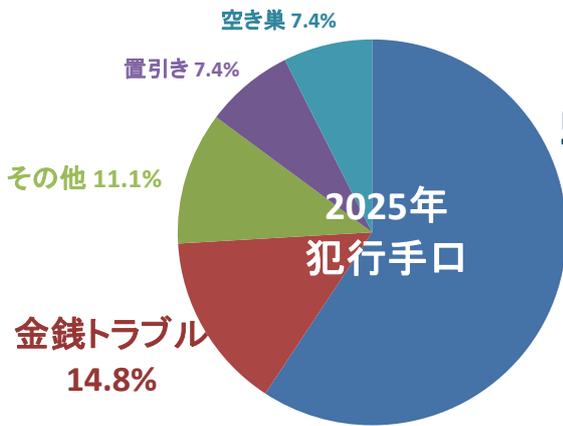
ギリシャ・邦人被害等ランキング2025



被害件数

コロナ規制緩和後は増加傾向にありましたが、2023年以降は2年連続で減少し、2025年は過去10年で最少件数※となりました。

※ コロナ規制中の2021年を除く



盗り

59.3%

犯行手口ランキング

・依然として、**盗り**が多発！

バッグは身体の前に持ち、目を離さない！
ズボンのポケットに貴重品を入れない！



・街中で突然、困ったふりをした外国人にお金を貸してと頼まれる**金銭トラブル**が増加！

貸したお金は、絶対に返ってきません！
フレンドリーに話しかけられたり、電話番号を教えられても、安易に信用しないでください。



被害場所ランキング

・第1位 シンタグマ広場とその周辺(アテネ)(33%)

土産物店や観光地に気を取られている間に盗まれます。また、声を掛ける等してわざと気を逸らせる手口も発生しています。



常に身の回り品に気を配り、急に声を掛けられたり、近くで注意を引く出来事があっても、まずは持ち物を点検するよう心掛けましょう。

・第2位 アクロポリス(アテネ)(19%)

アクロポリス遺跡内でも被害が発生しています。広大な世界遺産の前でも常に持ち物に注意しましょう。



本人も気づかぬうちに盗まれています。特に人混みの中では、身の回り品を意識しましょう。

・第3位 アテネ市以外の都市、郊外の観光地、島(22%)

テッサロニキ等の都市や、郊外の観光地のほか、サントリーニ島をはじめとした島のリゾート地でも盗難被害が発生しています。



荷物を足下や椅子の背もたれに置いて盗まれるケースも。貴重品は身体から離さず、スマホはテーブルに放置しないようにしましょう。

・第4位 電車内・駅構内(アテネ市内)(7%)

プロのすり集団が狙っており、常に注意が必要です。リュックサックから財布、パスポート等を盗まれる被害が多発しています。



アテネの電車内・各駅構内でも被害が多発しています。人混みの中で持ち物をすられる被害が多く、中には鞆をナイフで切って中身を盗む手口もあります。